

2024年9月19日（木）

藻場を中心とした海洋生物多様性保全の研究開発支援プロジェクト

発表記者会見ならびに研究費授与式のご案内

～独自の潮だまりメソッド構想と豊かな海を取り戻すためのアイデアをもつ16大学の若手研究者20名を紹介～

2024年9月19日（木） 15:00より、飯田橋イノカオフィスにて開催

一般財団法人 潮だまり財団（東京都渋谷区、代表理事：川口晋、以下、潮だまり財団）は、荒廃しつつある沿岸海洋生物資源の回復を目的に2024年4月に設立しました。吟味選定された沿岸海域で、藻場を形成するアマモをはじめとする沿岸海洋生物資源回復のための効果的かつ具体的な方法「潮だまりメソッド」を追求・考察を進めています。海洋環境が著しく変化し、技術的な発展が進むことを鑑み、この度新たに知見を創造し、広く集めるための研究開発支援プロジェクトを開始します。まずは、藻場やサンゴなどの海洋生物の研究をはじめとした豊かな海を取り戻すための新しい発想とアイデアを持つ若手研究者20人を採択し、研究費を授与します。つきましては、2024年9月19日（木）イノカオフィスにて、海洋生物多様性保全の研究開発支援プロジェクトの発表記者会見ならびに授与式を以下の概要で開催します。記者会見では今後の活動の礎となる「潮だまりメソッド」構想と採択された研究者を紹介します。

【概要】

- ◇主催：一般財団法人 潮だまり財団 (<https://www.shiodamari.or.jp>)
- ◇日時：2024年9月19日（木） 15:00～16:30（14:45受付開始）
- ◇場所：株式会社イノカ（東京都文京区後楽2丁目3-21 住友不動産飯田橋ビル 1F）
- ◇内容：潮だまり財団の設立経緯・「潮だまりメソッド」構想の発表／研究支援の概要説明と授与式／潮だまり財団の新たな取り組みの発表／有識者による潮だまり財団への期待
- ◇登壇者：潮だまり財団 代表理事 川口 晋
潮だまり財団 理事 篠澤 裕介（株式会社リバネス 執行役員）
潮だまり財団 理事 高倉 葉太（株式会社イノカ 代表取締役CEO）
研究採択者 松岡 怜（東京大学大学院 農学生命科学研究科生圏システム学専攻 修士2年）
研究採択者 吉澤 聡一郎（東京海洋大学 海洋生命資源科学専攻 修士2年）
楠部 真崇（和歌山工業高等専門学校 生物応用科学科 教授）

【潮だまり財団の設立背景】

現在、日本における海域の環境保全の為の方策として高度な排水処理や排出規制などの対策が取られてい



ます。しかしその結果、海域の水質改善は得られたものの生物資源の回復には至らず、却って減少の一途を辿っています。その原因としては、さまざまな要因が考えられますが、確かに言える事は、ただ単に水域に生育する生物に任せて改善を待つだけでは、生物資源の回復という成果は一向に得られないと言う事です。手付かずの海が何よりの自然保護への対策であるという考えは、人の手で攪乱してしまった自然に対しては意味をなしません。攪乱し荒廃させてしまった沿岸海洋生物資源の復活に向けて、手塩にかけた回復のための対策を講じることが何よりも必要であると考え、潮だまり財団を設立する運びとなりました。

【潮だまりメソッド】

潮だまり財団は、新しい沿岸海洋生物資源の回復のための効果的かつ具体的方法「潮だまりメソッド」を考察するべく株式会社イノカ（所在地：東京都文教区、代表取締役CEO：高倉 葉太）の環境移送技術®を活用したアマモの生育条件の特定と閉鎖環境下でのアマモの累代飼育システム開発を開始しました。現状、アマモをはじめとする藻場造成に関する課題として、種の安定的入手の難しさや発芽率の悪さ、植苗した後の成長が困難であるなど多岐に渡ります。アマモの生育条件の特定と閉鎖環境下でのアマモの累代飼育システムが確立することによって、アマモ場造成の非常に重要な技術となります。アマモの累代飼育を確立し、革新的な生態研究を進め、「潮だまりメソッド」を確立してまいります。

【研究助成】

荒廃しつつある海を取り戻すためには、技術やアセットをもつ研究者と、地域の海を保全するために活動続ける団体、環境問題や海洋保全に関心を持つ将来世代が集まり、異分野のチームによる知識製造を加速する必要があります。今回、潮だまり財団は、教育・人材・研究・創業に関わるさまざまな課題の解決を事業として進め、知識プラットフォームを有する株式会社リバナス（所在地：東京都新宿区、CEO：丸 幸弘）が運営主体のリバナス研究費と連携し、新しい沿岸海洋生物資源の保全を実現するための研究に対して支援を行います。

【授与式】

今回、採択が決定した豊かな海を取り戻すためのアイデアを持つ研究者らが集まり研究内容を紹介します。

【問い合わせ先】

公式サイトからお問い合わせください。
ご意見・ご協力・研究支援の依頼など、幅広くお待ちしております。

潮だまり財団公式サイト
<https://shiodamari.or.jp/>
スマートフォンはこちらから →

